

シニア



シユロの葉でカエルを作る鈴木さん(掛川市倉真)

バツタやカエルを精巧に

掛川市倉真地区は市北部の山あいに広がる自然豊かな田園地帯。倉真五区区长で、掛川茶手もみ保存会掛川支部副会長の鈴木善男さん(六七)建築業は葉っぱを使った昆虫や生き物細工を教える先生役をボランティアで続ける。

葉っぱは細工講師

鈴木 善男さん(掛川市)



「出張講師」を務める場合は小学校や図書館、観光施設などさまざま。シユロの葉を細

く裂いて編み込み、バツタカエルを精巧に作る。立体感があり、生きてもらう「お金を払うので譲り方」が多い。鈴木さんがこだわりの方。最近の「自然のもので遊んだり、キリなどの道具の使い方を教える」ことが多い。教え方を学んで笑顔で浮かべた時がうれしい」と手紙喜びをたくさんの人と共

畳からの立ち上がり

使えて便利」と彼は言うので、そこがAさんはひざを痛めて、畳からの立ち座りが少しくなってきた。座っている横に大きな台を置く

持ち運び簡単、安定手すりが便利

です。持ち運びも簡単。直径は三十二センチで握りやすい太さです。これなら好きな場所に楽に置けます(一万二千八百円)。



Z状の足で安定性の良い手すり「スタンパーZ」

その人らしい暮らしを支えること、これはその人のプライドを守ることにあります。Aさんは和室が好きですから、それを手放さずにあれこれ工夫をする。それが老いを豊かにするのです。

おすすめ生活用品

など工夫をしています。「でも、大きな台は動かしていい場所にも置くのも面倒。ベッドにした方がいいのでは」と言います。

の木...に郵送するか、電子メール

食中毒の予防

★食中毒では薬を飲む前に受診 毎年五月ごろから増加し始める細菌性食中毒は、腸炎ヒブリオ(魚介類)、サルモネラ菌(鶏卵や鶏肉類)、病原性大腸菌(牛肉類)などの細菌を食物などとともに摂取することで発症します。特に高齢者は体の抵抗力が弱くなっているため、わずかな菌でも中毒を起こしやすいので注意。

と称した。リートは千点五十円といっけ。た。(和光)